

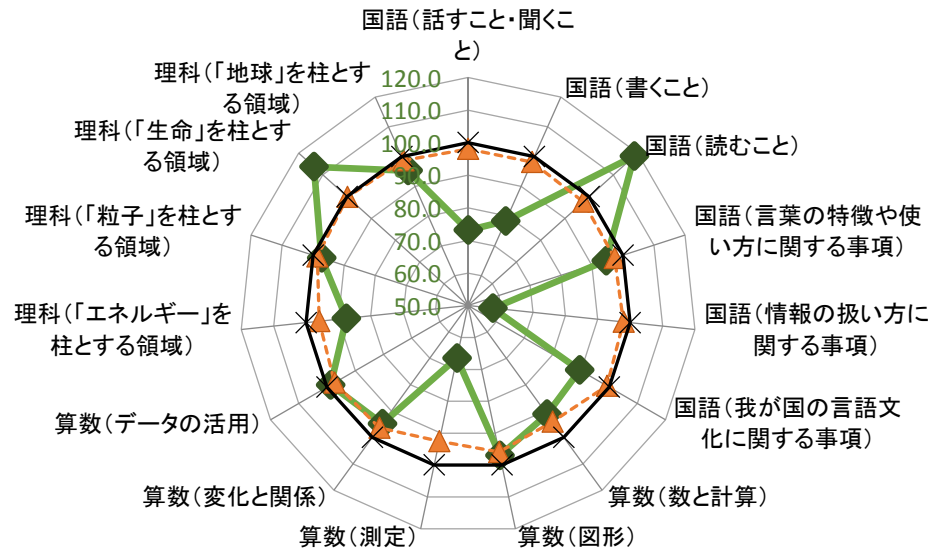
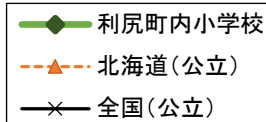
令和7年度全国学力・学習状況調査 利尻町内の状況及び今後の改善方策

○ 教科に関する調査の状況

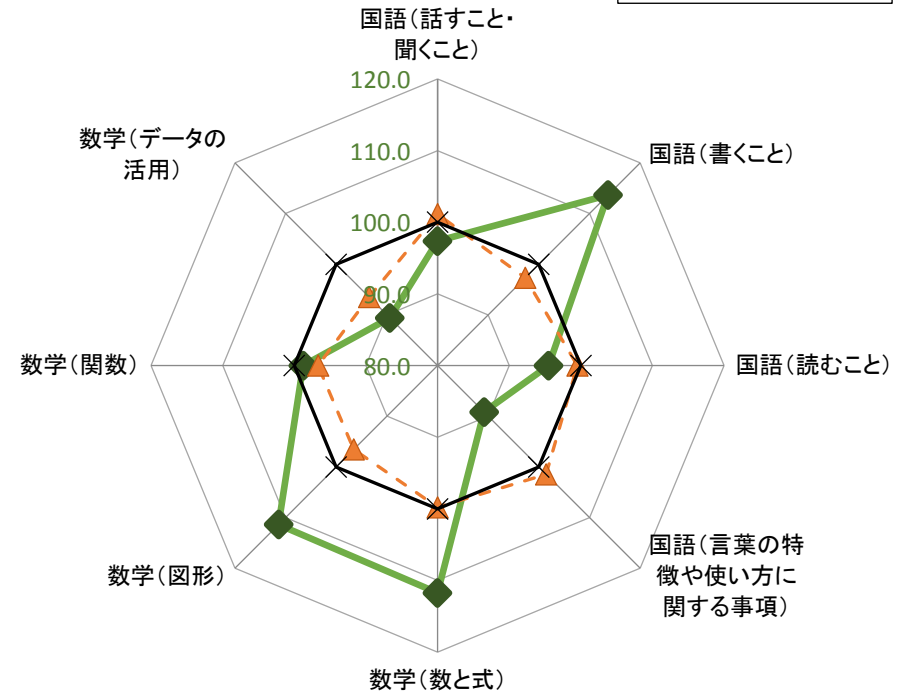
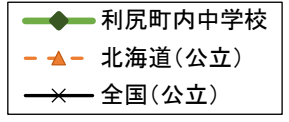
【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

小学校



中学校



【平均正答率・平均IRTスコア】

※中学校理科は平均IRTスコア

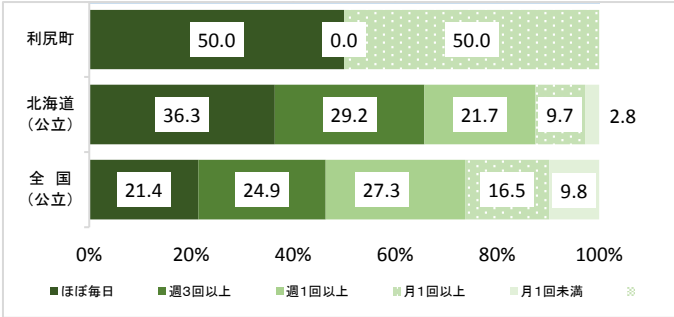
	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
利尻町	60	52	56	55	50	483
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

○ 質問調査の状況

小学校

<学校質問>

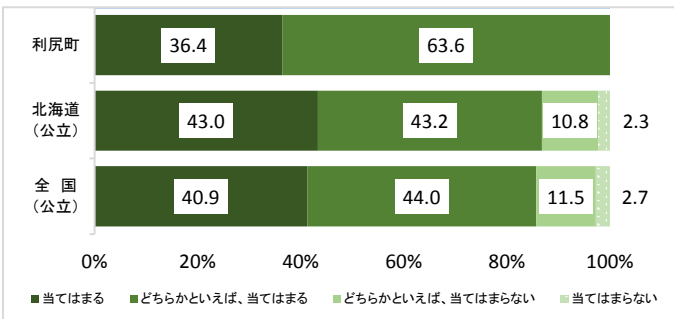
児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



小学校

<児童質問>

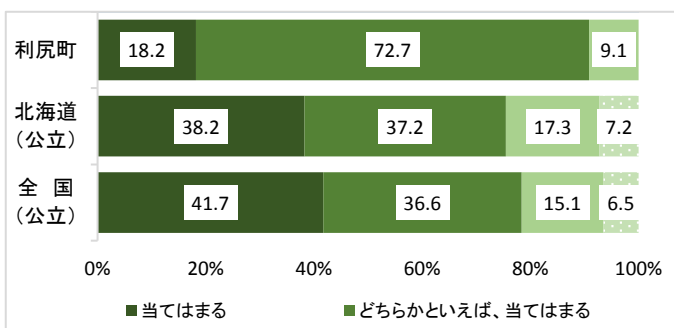
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



小学校

<児童生徒質問>

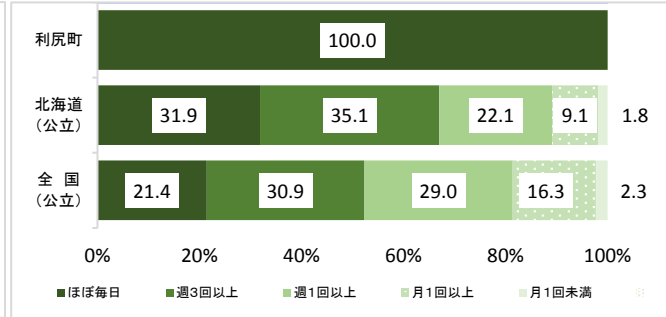
算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



中学校

<学校質問>

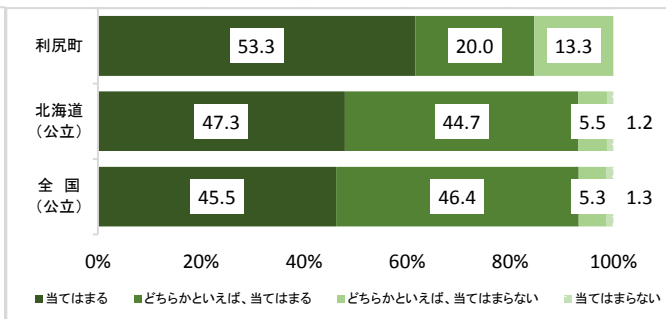
生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



中学校

<生徒質問>

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



中学校

○ 調査結果の分析

- 小学校において、児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。学校規模により活用の割合は変化することが考えられる。

- 中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日活用したことにより、授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。小学校、中学校ともに当てはまらなと回答した児童生徒がいなくとも評価できる。

- 小学校算数の平均正答率が全国及び全道を下回り、中学校数学が上回っている。算数[数学]の授業の内容はよく分かると回答した児童生徒の割合が全国及び全道を上回っているが、当てはまるだけを取ると半数の数値となることから、自信をもってわかると回答出来るような取組が必要となる。

○ 今後の改善方策

- 対象生徒が小学校時に書くこと、図形が重要課題として上げられ、指導方法の工夫改善の取り組みを中学校へしっかりと引継ぐことで、結果、児童生徒一人一人の資質・能力を確実に育成することが結果として表れている。今後も小学校の結果を基に小中9年間の取り組みとしていきたい。また、基礎・基本を定着させるため、検証改善サイクルシートや授業改善プラン等の使い、共通理解のもと、改めてわかりやすい授業づくりを行いながら、日常的に自分の考えをアウトプットする場面を充実させながら、表現力を高めていきたい。

- 学校以外の取り組みとして、授業復習特化型の中学生向け公設学習塾を行うことにより、学習内容がわからない生徒を解消していく取組を行っている。学校での授業の進捗に合わせて実施することで「算数授業の内容はよくわかりますかの問いに「当てはまらない」と回答している児童生徒が0%の結果としても表れている。